

登録制メール「あしべつ防災メール39(サンキュー)」

市民の皆さんへ気象や防災情報、避難発令情報など、緊急時の情報伝達手段として、Jアラート\*で受信した情報を自動でメール配信する登録制メール「あしべつ防災メール39」を整備しましたので、携帯電話やスマートフォンなどの携帯端末機やパソコンをお持ちの方は、登録をお願いいたします。

Jアラートの情報の他に、市から配信される情報として、避難情報(高齢者等避難、避難指示)やその他の防災情報(大規模な事故・停電・断水など)、行方不明者情報などもあります。

注) メールアドレスなど、登録された個人情報を利用することはできません。  
注) 登録料・情報提供料は無料ですが、通信に係る費用は利用者のご負担となります。

**【登録方法】**

手順① bousai.ashibetsu-city@v-vnet.jp へ空メールを送信します。 ○アドレスは、次のQRコードからも読み取れます。

手順② 返信メールが届きます。本文のアドレスを選択します。

手順③ 「必須」項目を記入・選択し、「次」へ。

手順④ 内容を確認し、「登録」を選択。

手順⑤ 登録完了です。



\*Jアラートとは、大きな地震やミサイル攻撃、テロ攻撃など国民の安全確保にかかわる重要な情報を人工衛星を用いて、国が瞬時に全国の自治体に伝達するシステムのことです。そのほか、地震速報(震度5弱以上)などの災害情報や、気象警報、土砂災害警戒情報、気象特別警報が配信されます。

防災・気象情報はこちら

下記のサイトからも積極的に事前情報を入手しましょう。

芦別市ホームページ 

<https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/kurashi/bosai/>

芦別市ソーシャルメディア 

芦別市公式 LINE @ashibetsu

芦別市防災 X(旧Twitter) @ashibetsubousai

気象情報 気象庁 <https://www.jma.go.jp>

河川情報 国土交通省「川の防災情報」(水位・雨量情報等) <https://www.river.go.jp>

防災情報 北海道防災情報(警報・注意報、地震、洪水、土砂災害情報等) <https://www.bousai-hokkaido.jp>

テレビで気象情報・河川情報の確認を!



リモコンのdボタンを押すことで、気象情報や河川情報など防災に役立つ身近な情報を見ることができます。

Yahoo!防災速報アプリ

災害が起こる前に、地震・豪雨・津波などの情報をプッシュ通知でお知らせするYahoo!の公式アプリです。



NHK ニュース・防災アプリ

最新ニュースや災害情報をお届けするNHK公式のアプリです。マップ上で雨雲や台風、河川情報をチェックでき、ライブ放送の同時提供もあります。



災害用伝言サービス 安否情報などを家族や知人に知らせる方法を家族で確認しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル



大規模な災害が発生し、安否確認等の電話によって電話回線が混雑し、電話が繋がりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にするNTTボイスメールサービスです。  
[171]にダイヤルし、音声ガイダンスに従い伝言の録音や再生を行います。なお、災害用伝言ダイヤルの提供開始はNTTが決定し、テレビやラジオでお知らせします。

録音 171 → 1 → 0□□□□□□□□ → 伝言の録音

再生 171 → 2 → 0□□□□□□□□ → 伝言の再生

案内放送が流れます... 被災地の方の電話番号

詳しい内容はNTTホームページへ <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/>

携帯電話災害用伝言板サービス

大規模な災害が発生した場合、携帯電話各社のトップに「災害用伝言板」が追加され、自らの安否状態を登録することが可能になり、登録された伝言は、インターネットや携帯電話などから確認することができます。  
※使用にあたっては、各携帯電話会社のホームページで確認しておきましょう。



この防災ガイドブック(ハザードマップ)は、公益財団法人北海道市町村振興協会(サマージャンボ宝くじの収益金)の助成を受けて作成しています。

防災ガイドブック

保存版 2023年10月



もしもの災害に備えて...

わが家の防災メモ

わが家の避難場所

わが家の集合場所

いざという時に備えて、書き込んでおきましょう!



家族の連絡先

家族の名前	生年月日	血液型	メモ(病症・病歴、携帯電話番号、勤務先など)
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+/-)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+/-)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+/-)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+/-)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+/-)	

困ったときの連絡先(親戚や知人・かかりつけ病院など)

名前	電話	住所	その他

芦別市総務防災課危機対策係

〒075-8711 北海道芦別市北1条東1丁目3番地 電話 0124-27-7058 FAX 0124-22-9696  
URL <https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/kurashi/bosai/>

はじめに

風水害

土砂災害

地震災害

その他の災害

避難方法

避難の心得

避難所一覧

防災活動

持出品・備蓄品

# はじめに

地震や風水害、土砂災害などの自然災害は、私たち人々の力で食い止めることはできませんが、災害による被害は、日ごろの活動や備えによって減らす(減災)ことができます。

このため、国や自治体などによる防災・減災の取り組み(公助)はもちろんのこと、大規模な災害が発生した直後には、まず、**自分の命は自分で守る(自助)**、次に、**家族や近所、友人と助け合う(互助)**、そして、**地域の人たちで助け合う(共助)**ことが、災害による被害を少なくするために必要な取り組みです。

芦別市は、広大な市域を有し、その約88%が山林ととても緑豊かなまちですが、気象状況等自然の影響によって、土砂災害や浸水が起こりやすい警戒区域もあります。防災・減災のためには、この**防災ガイドブック**及び**ハザードマップ**を利用し、「**災害を知ること**」・「**まちを知ること**」・「**危険な場所を知ること**」が大切です。

また、防災ガイドブックには、気象情報や防災情報、各種自然災害等に備えた知識や行動、非常時持出品(家庭備蓄)など、防災・減災の全般にわたる情報や知識、災害に備えた行動をまとめております。

**万が一の災害発生時に命を守る、地域を守るための迅速な行動と知識**を身に付けるため、大いに活用いただくことを望んでいます。



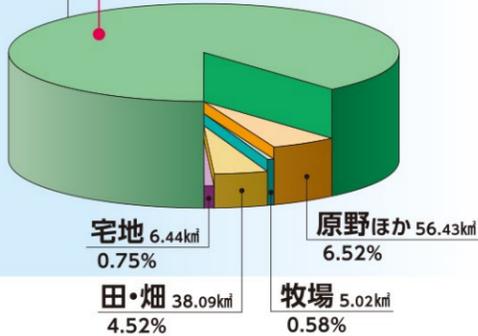
## 緑豊かなまち - 芦別市 -



### 芦別市の行政面積

合計:865.04km<sup>2</sup>

**山林 758.06km<sup>2</sup>**  
**87.63%**



### 全国都市行政面積ランキング

※2018年全国都市数は792(内北海道35)  
※e-Stat参照

順位	都道府県	都市	行政面積(単位:km <sup>2</sup> )
1	岐阜県	高山市	2177.61 km <sup>2</sup>
4	1	北海道 北見市	1427.41 km <sup>2</sup>
6	2	北海道 釧路市	1363.29 km <sup>2</sup>
16	3	北海道 札幌市	1121.26 km <sup>2</sup>
17	4	北海道 士別市	1119.22 km <sup>2</sup>
<b>38</b>	<b>5</b>	<b>北海道 芦別市</b>	<b>865.04 km<sup>2</sup></b>
633	35	北海道 歌志内市	55.95 km <sup>2</sup>
792		埼玉県 蕨市	5.11 km <sup>2</sup>

# 風水害

## 風水害に備える

### 天気予報や気象情報に注意

台風や豪雨は、ある程度進路や規模などを予測できます。普段から気象情報に十分注意して、風や雨に対する対策を立てることが大切です。



### 外出をひかえる

警報・注意報が発表されたときは、気象状況に十分注意し、無理な外出はせず、「マイ・タイムライン」(18ページ)で行動を確認しましょう。



## 風雨による危険度のチェックポイント

### 1時間雨量による雨と被害の目安

※降水量が1時間1mmとなる水の量とは、1m<sup>2</sup>の面積に、1mm(1リットル)降ること。

**やや強い雨**  
ザーザーと降る雨。地面いちめに水たまりができます。長く続く場合は注意が必要です。  
**10~20mm/h**

**強い雨**  
どしゃ降りの雨。側溝や下水があふれ、小川のはん濫、崖崩れの心配もあります。  
**20~30mm/h**

**激しい雨**  
バケツをひっくり返したような激しい雨。道路が川のようになり、規制も行われます。  
**30~50mm/h**

**非常に激しい雨**  
滝のように降り、地下に雨水が流れ込む場合や、土石流などの災害も発生しやすくなります。  
**50~80mm/h**

**猛烈な雨**  
息苦しくなるような圧迫感があり、雨による大規模災害が発生するおそれがあります。  
**80mm/h以上**

### 風と被害の目安

※風速は10分間の平均風速です。最大瞬間風速は平均風速の約1.5倍~3倍以上になることがあります。

**やや強い風**  
風に向かって歩きにくくなります。取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始めます。  
**風速10~15m/s**

**強い風**  
風に向かって歩けず、転倒する人も出ます。ビニールハウスが壊れるなどの被害が出ます。  
**風速15~20m/s**

**非常に強い風**  
シャッターの破損や、風で飛ばされた物で窓ガラスが割れるおそれもあります。  
**風速20~25m/s**

**非常に強い風**  
ブロック塀が壊れたり、取り付けの不完全な外装材が飛ぶ危険があります。  
**風速25~30m/s**

**猛烈な風**  
屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊なども発生するようになります。  
**風速30m/s以上**

気象庁ホームページ>知識・解説>天気予報等で用いる用語>雨の強さと降り方 より

# 土砂災害

## 土砂災害に備える

### 土砂災害の種類と現象

一般的に土砂災害は、降雨や融雪で地中の水分が増して地盤が緩み、さらに長雨や強雨が続いたときに発生するとされています。土砂災害の要因となる降雨について、日頃から注意しておく必要があります。

#### 土石流

山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象。



#### 地すべり

雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象。



#### 急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)

雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象。



### こんな前ぶれ現象に注意

次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。

**現象①**  
山鳴りがする

**現象②**  
雨が降り続けているのに川の水位が下がる

**現象③**  
斜面にひび割れができる

**現象④**  
川の水が濁り流木が混ざりはじめる

**現象⑤**  
小石がパラパラ落ちてくる

**現象⑥**  
斜面から水がふき出す

### 逃げ方を覚えましょう

土石流は速度が速いため、流れを背にしていたのでは追いつかれてしまいます。**土砂の流れる方向に対して直角に逃げる**ようにしましょう。



がけ崩れは一瞬で起こるため、早期避難の判断が重要です。緊急時には、**がけの高さの2倍以上の距離に逃げたり**、室内の安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に避難しましょう。



## 土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定

土砂災害から住民の生命・身体を守ることを目的とし、法律に基づいた調査によって「土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域」が指定されています。対象区域は防災ハザードマップで確認することができます。**自分が住んでいる場所が、警戒する区域に指定されていないか「防災ハザードマップ」で確認しましょう。**

また、水防法により、河川がはん濫した場合に浸水が想定される「浸水想定区域(想定最大規模)」が福住町及び常磐町の一部で指定されています。

#### 土砂災害警戒区域

土砂災害のおそれがある区域

警戒避難体制の整備  
土砂災害から生命を守るため警戒避難体制を整備します。

#### 土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域のうち、建物が崩壊される可能性のある区域で、特に危険な区域

- ① 建築物の構造規制  
新たに建物を建てる時建築物の安全性が確認されます。
- ② 特定の開発行為に対する許可制  
老人ホーム・病院などの避難行動要配慮者関連施設の建築、住宅地分譲などの開発行為に許可が必要となります。
- ③ 建築物の移転  
著しい損傷が生じるおそれのある建物の所有者に対し、移転等の勧告が図られます。  
(※融資等の支援制度あり)

### 各地区の警戒区域指定状況

地区名	土砂災害警戒区域			土砂災害特別警戒区域		浸水想定区域 (想定最大規模)
	土石流	地すべり	急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)	土石流	急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)	
1 本町	9	2	4	4	4	0
2 高根町	2	1	0	1	0	1
3 旭町	10	3	8	7	8	1
4 旭町油谷地区	1	0	1	0	1	1
5 常磐町	7	2	2	2	2	2
6 福住町	2	0	0	2	0	2
7 黄金町	11	5	2	6	2	1
8 豊岡町	3	1	0	1	0	0
9 新城町	1	1	0	0	0	1
10 上芦別町	3	1	20	3	20	1
11 野花南町	4	0	2	1	2	1
12 滝里町・泉	1	0	0	1	0	1
13 西芦別町	7	0	8	3	8	1
14 中の丘町	0	0	1	0	1	0
15 東頼城町	5	0	6	5	6	0
16 緑泉町	5	0	4	4	4	0
17 頼城町	11	0	5	11	5	1
18 玉川地区	0	0	0	0	0	0
19 川岸地区	5	0	1	4	1	1
20 青木沢地区	2	0	0	1	0	1
計	89	16	64	56	64	16

## 地震災害に備える

### 日頃から安全確認をしておきましょう

地震は突然起こります。家族の安全と被害を最小限に食い止めるためにも日頃からの準備が必要です。家族で防災について話し合い、災害から身を守りましょう。

#### わが家の耐震診断



家の間取りから、水まわり、ガスの位置、電気のブレーカー、家具の位置をチェックする。家屋の耐震診断は専門家に相談し、補強等を実施する。

#### ブロック塀の点検



ひび割れや壊れているところはないか、特に通学路、避難路に面している所はしっかり補強する。

#### 高い所に重い物を置かない



地震時の落下によるケガの原因になるので、家具の上にテレビなどの重い物を置かない。

#### 家族で話し合い



家族の役割分担や集合場所を決める。

※「わが家の防災メモ」(表紙)に書き込んでください。

### わが家の地震対策チェック

自宅の安全対策について点検し、対策が出来ていれば☑にチェックを入れましょう。不備な点がある場合は急いで対策を行いましょう。

- 家具は固定していますか。
- 照明器具はしっかり固定していますか。
- 冬期間、雪おろしをしていますか。屋根が重いと地震時に、建物に大きな負担がかかります。
- エアコンはしっかりと固定していますか。
- 棚、タンスなどの上に、重い物を置いていませんか。
- 灯油タンクはしっかりと固定されていますか。
- ブロック塀は、ぐらついていませんか。鉄筋が入っていますか。
- プロパンガスボンベは、しっかりと固定されていますか。配管はぐらついていませんか。
- 消火器を置いていますか。使い方を知っていますか。使用期限は過ぎていませんか。
- ストープ、ガスレンジなどの、火元まわりに燃えやすいものを置いていませんか。

### 室内の安全対策

自宅の家具も地震時には凶器となるかもしれません。家具を固定し、安全対策に努めましょう。

**タンス・本棚**

L字金具 支え棒

L字金具で固定する。住宅事情により金具が取付けられない場合は、支え棒が便利です。

**テレビ**

できるだけ低い位置に転倒防止マットなどで固定して置く。

**食器棚**

金具などで固定し、滑り止めシートや止め金具、飛散防止フィルムを貼る。

**照明器具**

落下防止のため、チェーンや金具で止める。

**暖房機器**

耐震自動消火装置付きのものを。周囲に燃えやすい物を置かない。

## 震度と揺れ(気象庁震度階級による)

<b>震度 0</b> 人は揺れを感じない。	<b>震度 1</b> 屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。	<b>震度 2</b> 電灯などがわずかに揺れる。	<b>震度 3</b> 棚の食器類が、音を立てることもある。	<b>震度 4</b> 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
<b>震度 5弱</b> 棚にある食器類や本が落ちることがある。	<b>震度 5強</b> 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。	<b>震度 6弱</b> 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	<b>震度 6強</b> はわないと動くことができない。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	<b>震度 7</b> 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。

## 地震が起きたら…

パニック状態になった時、とっさの判断は難しいものです。次の事を参考に避難を心がけてください。

- まず、身を守る**  
机の下などにもぐり、身を守りましょう。
- かならず火の始末**  
コンロなどの火を消す。火が出ても落ち着いて初期消火。
- 出口を確保**  
家が傾いてドアが開かなくならないように、すばやく窓や扉を開けましょう。
- わが家の安全確認**  
火災、家屋倒壊の危険やガス爆発など、二次災害の兆候はないか確認しましょう。

**あわてずに避難所へ!!** わが家の防災メモを確認しましょう!

**避難は徒歩で、持ち物は少なく!!**

- 動きやすい服、ヘルメット、底の厚い靴。
- 家族への連絡メモを残す。
- ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを切る。
- 火の元の確認と消火。

**5 情報確認**  
近所の人と声をかけ合って安全を確かめ、ラジオなどから情報を集めましょう。

危険なら… 安全なら…

## 火災が発生したら

- すぐに大声で知らせる**  
火災を発見したら、周りの人に大声で知らせましょう。鍋などを叩いて大きな音を立てるのも効果的です。小さな火でも119番通報を。
- 早く消火する**  
避難経路を確保し、水や消火器のほか、座布団で叩く、布団を被せて密閉するなどして、消火にあたります。
- 早く逃げる**  
火が天井に燃え移ったら、消火を諦め速やかに避難。避難するときは、できるだけ姿勢を低く、タオルで口を覆うなど、煙を吸わないようにしましょう。

**消火器の正しい使い方**

- 安全ピンに指を掛け、上に引き抜きます。
- ホースの先端を持って、火元に向けます。
- レバーを強く握り、火元に吹きつけます。その際、燃焼物が飛散することがあるので注意しましょう。

**注意!** 消火完了後も、熱が残っていると再発火の恐れがあります。注意しましょう。

**注意!** 消火器の設置場所は、日の当たる場所や湿気のあるところを避けましょう。

# その他の災害

## 大規模火災

### 風上の指定緊急避難場所へ避難

通常の火災でも強風にあおられて広範囲に延焼する大規模火災が起きたときは、**風上の指定緊急避難場所に避難しましょう。**



## 暴風雪に備える

### 気象状況に十分注意しましょう

雪に伴う警報や注意報が発表されたときは、気象状況に十分注意し、**無理な外出はしないようにしましょう。**

◎注意報・警報の発表基準値(札幌管区气象台)

**大雪注意報**

降雪の深さ  
**30cm/12h**の降雪

**大雪警報**

降雪の深さ  
**50cm/12h**の降雪

**風雪注意報**

平均風速 **10m/s**  
[雪による視程障害を伴う]

**暴風雪警報**

平均風速 **16m/s**  
[雪による視程障害を伴う]

**！暴風雪時は外出を控えることが重要です**

### やむ得ず車で外出するときには

天気の急変などにより車が立ち往生することを想定して、防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認しましょう。



### 歩行中や屋外で作業中の時

視界不良(ホワイトアウト)により方向感覚がなくなり、自分の位置が分からなくなることがあるため、近くの商店・コンビニエンスストアなどの建物へ避難しましょう。暴風による飛来物にも注意しましょう。



### 除雪中の事故防止

- 除雪作業は2人以上で行い、携帯電話を携行しましょう。
- 屋根など高所での雪下ろしの時には、必ず命綱を使用しましょう。
- はしごの固定を忘れずに。
- 晴天時など気温の高い日は、雪が緩むため注意しましょう。
- 除雪機の雪詰まりを直すときは、必ずエンジンを切りましょう。

**命綱を使用!!**

**エンジン OFF!!**



**吹きだまり注意!!**



### 車を運転しているとき

運転中に暴風雪となり視界が悪くなったときは、そのまま運転を続けるのは大変危険です。

- スーパー、コンビニエンスストア、人家などで天気の回復を待ちましょう。
- 気象情報や道路情報を確認し、安全に運転できると判断したのち出発しましょう。



### 車が立ち往生したとき

車が立ち往生したときは、後続車から追突されないように注意してください。

- ハザードランプを点滅、停止表示板を置く。
- JAFなどのロードサービス、警察・消防、近くの人家に救助を依頼しましょう。
- 一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。暖房などで止むを得ずエンジンをかけるときには、排気管出口を確実に大気へ解放し、追加の降雪や吹きだまりで埋もれないように注意しましょう。

#### ◆緊急時の連絡先

※短縮ダイヤル

道路の異常を発見したら  
**道路緊急ダイヤル ▶ (#9910)**  
車の故障・レッカー移動  
**JAFロードサービス ▶ (#8139)**



## 停電に備えて

### 災害による停電に注意

電線への着雪・強風・飛散物により電線が切れ、突然停電になることがあります。地震や暴風雨、暴風雪に注意しましょう。



### 長期化に備えて

リビングや寝室などに懐中電灯や足元灯を備えましょう。また、停電による給水ポンプの停止や、停電の長期化に備え、水等の備蓄品を用意しておきましょう。(17ページ備蓄品リスト参照)



### 災害情報を確保するために

インターネットや携帯電話などを利用できないおそれがあり、情報を得ることが困難になります。ラジオや予備の電池を常備しておきましょう。



### 大規模停電時は

避難施設へ避難することも考え、持出品をチェックしておきましょう。(17ページ持出品リスト参照)



## 武力攻撃やテロから身を守るために

### 弾道ミサイルへの対応

Jアラートが発表されたら数分で着弾や通過をします。

- 屋内にいる場合 … **ドアや窓を全部閉め、出来るだけ窓から離れて避難してください。**
- 屋外にいる場合 … **近くの建物に避難しましょう。近くに適当な建物等がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守ってください。**



### AED(自動体外式除細動器)による救命処置

AED「自動体外式除細動器」は、突然の心停止から、けいれんした心臓に電気ショックを与え、正常な状態に戻すための機械です。付属の電極パッドを傷病者に貼ると自動的に心電図を解析し除細動が必要な場合のみ電気ショックを加える仕組みで、安全・確実に除細動が行えます。



心肺蘇生法を行いながら、AEDを装着し、音声ガイダンスに従って除細動することが大切です。



日頃から消防署などで開催する講習会等に参加して、その使用方法について学んでおきましょう。

# 情報と避難方法

## 災害情報について

### 災害情報の伝達経路

状況に応じて、気象情報・注意報・警報と避難情報(避難指示)は、図のように市民のみなさんに伝えられます。



### 大雨などの警戒レベルに注意

風水害の発生が予想される場合、状況に応じて下記の警戒レベルが発表されます。地域の方々にも声をかけながら、それぞれの警戒レベルに合わせてしっかりと行動しましょう。

#### 警戒レベルととるべき行動

災害の危険度	警戒レベル	住民がとるべき行動
低 ↑ 災害の危険度 ↓ 高	1	今後気象状況悪化のおそれ 気象庁が発表 早期注意情報
	2	気象状況悪化 気象庁が発表 大雨・洪水・高潮注意報
	3	災害のおそれあり 芦別市が発令 <b>高齢者等避難</b> ※1
	4	災害のおそれ高い 芦別市が発令 <b>避難指示</b> ※2
	5	災害発生又は切迫 芦別市が発令 <b>緊急安全確保</b> ※3

避難に時間を要する人(高齢者、障がい者、乳幼児等)は、**警戒レベル3 高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

**警戒レベル4 避難指示**で危険な場所から全員避難しましょう。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。**警戒レベル5 緊急安全確保**の発令を待ってはいけません!

**警戒レベル5 緊急安全確保**が発令された場合  
これまでに経験したことのないような、危険が差し迫った異常な状況にあります  
ただちに「**命を守る行動**」をとってください!

～<警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難!>～

※1 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。  
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。  
 ※3 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

## 避難方法

### 危険を感じたらすぐに自主避難



最近全国各地において頻繁に見られる局地的集中豪雨のように、突発的な異常気象の場合には、市からの避難情報が間に合わないケースもあります。その際には、身の危険を感じたら安全な場所にいる家族や知人の家、避難所などへ自主的に避難しましょう。

### 命を守る最低限の方法とは

危険な状況のなかでの避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。危険が切迫している場合は、**指定された避難場所への移動(①水平避難)**だけでなく、**命を守る最低限の行動(②垂直避難)**が必要な場合もあります。

- 例えば、
- 夜間や急激な降雨で避難路上の危険がわかりにくい。
  - ひざ上まで浸水している(50センチ以上)。
  - 浸水は20センチ程度だが、水の流れる速度が速い。
  - 浸水は10センチ程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある。

#### 水平避難



#### 垂直避難



**②垂直避難**:上記の場合、屋外への移動は危険です。浸水による建物倒壊の危険がないと判断される場合には、自宅や近隣建物の2階以上へ緊急的に一時避難し、救助を待つことも検討しましょう。

### 広域避難について

芦別市の避難所に向かうよりも、隣接市の避難所が近い場合やより安全に避難できる場合は、身の安全を確保するため、一時的に近隣自治体の避難所に避難することが可能です。



### 感染症拡大を抑えるための分散避難

災害時の避難所に多人数が集まれば、密集した空間となり、感染症リスクが高まる恐れがあります。新型コロナウイルス等の感染症の対策が進められている現在において、以下を留意した「分散避難」の考えを持って、行動することが求められています。

#### ●避難の必要性を再確認する

あらかじめハザードマップ等で自宅周辺のリスクを把握しておきましょう。災害時には自分に避難が必要なのかを再度確認し、避難所への**不要な移動を行わない**ようにしましょう。

#### ●縁故避難も視野に入れましょう

避難所で密集することを避けるためには、**災害危険の無い親戚や友人、知人の家**などへ避難が可能か確認しておきましょう。

#### ●避難所への避難が必要であれば...

避難所で十分なスペース確保や換気が行われていても、「**避難所には感染症拡大のリスクがある**」ことを再認識して、感染防止に役立つ物品を用意し、安全に避難しましょう。**マスク、消毒液、除菌シート、体温計**等の物品は日頃から用意しておきましょう。



# 避難の心得

## 避難の心得12項目

以下に避難の際に注意する12項目をまとめましたので、もしもの災害が起きた時、慌てずに行動できるよう確認しておきましょう。

### ① 最新情報を入手

ラジオ・テレビ・スマートフォンから最新の気象・災害情報を受け取り、危険を感じたら避難準備をしましょう。



### ② 呼びかけに注意

市役所、消防署、警察署からの避難の呼びかけに注意しましょう。



### ③ ガスの元栓を閉める

地震後はガス器具やガス管が壊れている場合があります。ガスが復旧した際にガス爆発の危険があるため、ガスの元栓を閉めましょう。



### ④ ブレーカーを落とす

停電時でも必ずブレーカーを落として避難してください。停電から復旧した際に「通電火災」の危険があります。地震に対しては、感電ブレーカーの設置を検討してみましょう。



### ⑤ 連絡・メモを残す

安否情報、連絡先などのメモを残しましょう。電話の混線が想定されるので、SNSなどを利用するのも良いでしょう。



### ⑥ 2人以上で避難

できるだけ1人の避難は避けましょう。また、子どもからは目を離さないようにしましょう。



### ⑦ 助け合って避難を

子どもや高齢者、病気の人などは避難に時間がかかるので、早めに避難させましょう。また、近所の人の場合も積極的に協力しましょう。



### ⑧ 安全な避難

浸水があった場合は、溝や水路に十分注意しましょう。また、がけ地などでは、土砂災害のおそれがあるので注意しましょう。



### ⑨ 避難は徒歩で

車での避難は、緊急車両通行の妨げや交通渋滞を招くほか、浸水により動けなくなるおそれもあります。特別な事情がない限り、徒歩で避難しましょう。



### ⑩ 避難に遅れたら…

万一、避難に遅れ危険が迫ったときには、近くの丈夫な建物のできるだけ高いところに逃げましょう。



### ⑪ ペットの同行避難

ペットを連れて避難所へ避難する場合は、食料等を準備してケージに入れ、避難所の受け入れ可否を確認してから避難してください。



### ⑫ 車中避難について

車中避難する場合は、適度な運動と水分補給をして、エコノミークラス症候群などのリスクを減らす行動を心がけましょう。



# 避難所・避難場所

市では、国の災害対策基本法に基づき、「指定避難所」・「指定緊急避難場所」のほか、「福祉避難所」、「広域避難場所」の4種類の避難所・避難場所を指定しています。

なお、避難所・避難場所は、施設廃止などにより指定を解除する場合があります。

## ① 広域避難場所

地震による火災の延焼拡大など、大規模な災害により地域全体が危険になったときに避難する場所です。

地区	指定緊急避難場所				施設区分	災害別の指定					
	番号	施設名	所在	面積(m <sup>2</sup> )		地震	洪水	土石流	崖崩れ	地滑り	大規模火災
市全域	①	なまこ山総合運動公園	上芦別町6	212,499	都市公園	○	○	○	○	○	○

## ② 指定緊急避難場所(その1)

災害が発生し、または発生するおそれがある場合にその危険から逃れるために一時的に避難する場所です。

地区	指定緊急避難場所				面積(m <sup>2</sup> )	災害別の指定					
	番号	施設名	所在	地震		洪水	土石流	崖崩れ	地滑り	大規模火災	
本町高根	①	道の駅 スタープラザ芦別駐車場	北4東1-1	5,425	○	○	○	○	○	○	
	②	芦別高校グラウンド	本町40	27,118	○	○	○	○	○	○	
	③	芦別小学校グラウンド	北2東1-1	13,576	○	○	○	○	○	○	
	④	芦別中学校グラウンド	北6東7-1	11,392	○	○	○	○	○	○	
	⑤	もとまち公園	北1東1-4	4,495	○	○	○	○	○	/	
	⑥	若葉公園	北1東2-11	9,583	○	○	○	○	○	○	
	⑦	こがね公園	北3東1-6	1,899	○	○	○	○	○	/	
	⑧	こだま公園	北3東1-15-3	4,374	○	○	○	○	○	○	
	⑨	あかつき公園	北5東1-1	4,131	○	○	○	○	○	○	
	⑩	栄町児童公園	北1西1-10	708	○	○	○	○	○	/	
	⑪	双葉公園	北2西2-2	2,724	○	○	○	○	○	/	
	⑫	みやもと公園	北3西2-6	2,866	○	○	○	○	○	/	
	⑬	なかよし公園	北4西1-6	3,393	○	○	○	○	○	/	
	⑭	あすなる公園	北4西2-11	7,195	○	○	○	○	○	/	
	⑮	さつき公園	北4西4-3	2,556	○	○	○	○	○	○	
	⑯	らいらっく公園	北5西1-12	5,615	○	○	○	○	○	○	
	⑰	そよかぜ公園	北5西3-6	2,754	○	○	○	○	○	/	
	⑱	ことぶき公園	北5西4-7	1,112	○	○	○	○	○	○	
	⑲	湊水公園	北6西4-2-1	3,275	○	○	○	○	○	/	
	⑳	すみれ公園 (令和6年3月まで)	北6西5-3	1,814	○	○	○	○	○	○	
	㉑	やまびこ公園	本町1136	2,149	○	○	○	○	○	○	
	㉒	くるみ公園	本町1075	1,086	○	○	○	○	○	○	
	㉓	北大通中央分離帯	北4西3~東1	27,272	○	○	○	○	○	/	
	㉔	みどり公園	南1東2-3	3,087	○	○	○	○	○	○	
	㉕	幸町児童公園	南1東1-6	341	○	○	○	○	○	○	
	㉖	ひまわり公園	南3東2-7	3,303	○	○	○	○	○	○	
	㉗	こぼと公園	南2東3-5	2,576	○	○	○	○	○	○	
	㉘	やよい公園	北1西3-9	5,266	○	○	○	○	○	○	
旭	旭町健康広場	旭町56	1,848	○	○	○	○	○	○		
旭町油谷	健民センターグラウンド	旭町油谷1	13,300	○	○	○	○	○	○		
常磐住	旧常磐小学校グラウンド	常磐町293	6,310	○	○	○	○	○	○		
	常磐ふるさと公園	常磐町554	11,975	○	○	○	○	○	○		
黄金岡	黄金多目的研修センター駐車場	黄金町638	681	○	○	○	○	○	○		
新	新城多目的研修センター駐車場	新城町186	616	○	○	○	○	○	○		
	カナディアンワールド公園	黄金町731番地外	448,551	○	○	○	○	○	○		



# 避難所・避難場所

## ② 指定緊急避難場所(その2)

地区	指定緊急避難場所				災害別の指定					
	番号	施設名	所在	面積(m <sup>2</sup> )	地震	洪水	土石流	崖崩れ	地滑り	大規模火災
西芦別	36	旧西芦別小学校グラウンド	西芦別町1	13,076	○	○	○	○	○	○
	37	西芦別中央公園	西芦別町1	12,856	○	○	○	○	○	○
	38	青葉二条公園	西芦別町87	2,810	○	○	○	○	○	○
	39	北日本多目的センター駐車場	西芦別町43	2,700	○	○	○	○	○	○
頼城	40	緑泉公園	緑泉町5-1	16,650	○	○	○	○	○	○
	41	頼城公園	頼城町4	2,190	○	○	○	○	○	○
	42	頼城仲町公園	頼城町4	5,175	○	○	○	○	○	○
	43	頼城多目的研修センター広場	頼城町1	3,306	○	○	○	○	○	○
	44	星槎国際高校芦別スクーリングセンターグラウンド	緑泉町5	11,488	○	○	○	○	○	○
上芦別	45	西芦別浄水場敷地	頼城町125	810	○	○	○	○	○	○
	46	上芦別小学校グラウンド	上芦別町79	16,550	○	○	○	○	○	○
	47	啓成中学校グラウンド	上芦別町263-1	10,740	○	○	○	○	○	○
	48	上芦別三条公園	上芦別町199-11	2,177	○	○	○	○	○	○
	49	ひかり公園	上芦別町537	2,317	○	○	○	○	○	○
	50	上芦別球場	上芦別町199	11,320	○	○	○	○	○	○
	51	啓南公園	上芦別町30	7,485	○	○	○	○	○	○
	52	滝の里公園	上芦別町73	3,170	○	○	○	○	○	○
	53	星んこ公園	上芦別町94	1,726	○	○	○	○	○	○
	54	西山公園	上芦別町105-345	2,026	○	○	○	○	○	○
	55	ふるさと公園	上芦別町118-5	15,158	○	○	○	○	○	○
	56	あかね公園	上芦別町30	974	○	○	○	○	○	○
野花南	57	上芦別公園 (都市公園と重複)	野花南町 196 上芦別町 201 番地外 空知川河川敷	62,402 49,622	○	○	○	○	○	○
	58	野花南農村公園	野花南町977-1	8,516	○	○	○	○	○	○
滝里	59	滝里ダム防災施設駐車場	滝里町288	40,800	○	○	○	○	○	○

## ③ 指定避難所(その1)

災害の危険性があり避難した住民を災害の危険性がなくなるまでに必要な間滞在、または災害により家に戻れなくなった住民を一定期間滞在させるための施設です。

地区	指定避難所				災害別の指定						
	番号	施設名	所在	電話番号	収容人数	地震	洪水	土石流	崖崩れ	地滑り	大規模火災
本町根旭	1	芦別高校	本町40	22-2645	400	○	○	○	○	○	○
	2	芦別小学校	北2東1-1	22-2573	450	○	○	○	○	○	○
	3	芦別中学校	北6東1-7	24-2111	450	○	○	○	○	○	○
	4	市民会館・青年センター	北1東2-4	22-3110	350	○	○	○	○	○	○
	5	子どもセンター	本町28	24-2777	200	○	○	○	○	○	○
	6	勤労者体育センター	北4西2-3-3	23-1130	250	○	○	○	○	○	○
	7	あけぼの団地集会所	北6西4-7	23-0893	55	○	○	○	○	○	○
	8	本町地区生活館	北3西1-9-1	23-0566	50	○	○	○	○	○	○
	9	星槎国際高等学校	北7西5	24-6101	300	○	○	○	○	○	○
	10	旭町内会館	旭町56-1	22-1169	15	○	○	○	○	○	○
	11	道営住宅であえる緑幸団地集会所	南2東2-5-1	22-2111	40	○	○	○	○	○	○
	12	道の駅 スタープラザ芦別	北4東1-1	23-1437	40	○	○	○	○	○	○

## ③ 指定避難所(その2)

地区	指定避難所					災害別の指定					
	番号	施設名	所在	電話番号	収容人数	地震	洪水	土石流	崖崩れ	地滑り	大規模火災
常磐	13	常磐多目的研修センター	常磐町556	22-9706	50	○	○	○	○	○	○
福住	14	福住町内会館	福住町53	22-0929	20	○	○	○	○	○	○
黄金	15	黄金多目的研修センター	黄金町638	28-2514	50	○	○	○	○	○	○
豊岡	16	新城多目的研修センター	新城町186	28-2032	50	○	○	○	○	○	○
新城	17	芸術文化交流館(令和6年3月まで)	新城町185	28-2021	100	○	○	○	○	○	○
旭町油谷	18	スターライトホテル 油谷体育館	旭町油谷1	23-1155	100	○	○	○	○	○	○
西芦別	19	北日本多目的センター	西芦別町43	25-7633	80	○	○	○	○	○	○
頼城	20	星槎大学	緑泉町5-14	22-2240	450	○	○	○	○	○	○
	21	頼城多目的研修センター	頼城町4-21	25-7076	90	○	○	○	○	○	○
	22	西芦別浄水場	頼城町125	25-5370	50	○	○	○	○	○	○
上芦別	23	川岸町内会館	川岸135	25-5733	20	○	○	○	○	○	○
	24	総合体育館	上芦別町6	24-2525	1400	○	○	○	○	○	○
	25	上芦別小学校	上芦別町79	22-4021	450	○	○	○	○	○	○
	26	啓成中学校(令和6年3月まで)	上芦別町263-1	22-4141	450	○	○	○	○	○	○
	27	上芦別生活館	上芦別町215	22-5019	50	○	○	○	○	○	○
	28	啓南多目的研修センター	上芦別町38	22-9172	50	○	○	○	○	○	○
	29	上芦別多目的研修センター	上芦別町546	22-8940	50	○	○	○	○	○	○
	30	上芦別第5町内会館	上芦別町38	22-5172	30	○	○	○	○	○	○
	31	上芦別第7町内会館	上芦別町157	22-4525	20	○	○	○	○	○	○
	32	ひぐらし研修センター	上芦別町73	22-8160	50	○	○	○	○	○	○
	33	北日本自動車大学校	上芦別町118-132	22-3811	150	○	○	○	○	○	○
野花南	34	宿泊交流センター 1号館	上芦別町38	22-2565	150	○	○	○	○	○	○
	35	宿泊交流センター 2号館	上芦別町38	22-2565	80	○	○	○	○	○	○
野花南	36	野花南生活改善センター	野花南町997	27-3252	70	○	○	○	○	○	○
滝里	37	滝里ダム防災施設	滝里町288	27-3939	200	○	○	○	○	○	○
泉	38	島ノ下会館	富良野市島の下1111-118	0167-392300	70	○	○	○	○	○	○



災害発生時に、指定避難所での生活が困難な高齢者、障がいのある人、妊婦、幼児等、特別な配慮を必要とする人を受け入れる二次避難所です。各指定避難所の状況を判断した上で、必要な時に開設されるため、最初から避難所として利用することはできません。

## ④ 福祉避難所

地区	指定避難所					災害別の指定						
	番号	施設名	所在	電話番号	収容人数	施設区分	地震	洪水	土石流	崖崩れ	地滑り	大規模火災
市全域	1	総合福祉センター(通所系)	北1東1-8-5	22-8860	100	福祉施設	○	○	○	○	○	○
	2	保健福祉施設すばる(入所系)	本町14	22-1816	30	保健福祉施設	○	○	○	○	○	○
	3	ケアハウスあしべつ(入所系)	本町1065-27	24-6600	20	ケアハウス	○	○	○	○	○	○
	4	特別養護老人ホーム芦別慈恵園(入所系)	旭町28-3	22-2566	20	特別養護老人ホーム	○	○	○	○	○	○
	5	芦別慈恵園デイサービスセンター(通所系)	旭町28-3	23-2220	20	介護通所施設	○	○	○	○	○	○

※感染症対策のため、収容人数が変動する場合があります。

## 自主防災組織について

自主防災組織とは『自分たちのまちは自分たちで守る』という、地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて結成される防災組織のことです。

大規模な災害が発生した場合、道路交通網の寸断や同時災害の多発により、消防や自衛隊などの公的な防災機関の活動が大幅に制限されることが予想されます。こうした場合、市民のみなさんが協力して初期消火や負傷者の救出、救護、避難誘導などの活動を行うことが、被害軽減のために重要になってきます。

いざ災害が発生した時に、地域で自主的に防災活動を行うことが出来るよう、積極的に参加して、災害に強い地域を作りましょう。

### 町内会などで自主防災組織をつくりましょう

自主防災組織は地理条件、生活環境などから地域としての一体性を必要とします。そのため、組織の多くは町内会ごとに結成されています。

町内会などを単位として自主防災組織を作りましょう。

### 自主防災組織

#### 平常時の活動

役割分担を明確にして訓練を実施し、緊急時に役立つ活動につなげましょう。

##### 防災知識の普及

防災についての正しい知識を地域に普及させるために、防災イベントの実施や防災地図の作成などを通じて防災知識の普及をする。



##### 防災資機材の整備

消火活動、応急手当て、救出・救護、避難誘導など災害時に必要となる資機材を準備し、定期的に点検や使い方を確認する。



##### 地域内の防災環境の確認

災害発生時に、地域内に被害の発生、拡大につながる原因がないか、また、援助の必要な方がいないかなどを確認する。



##### 防災訓練の実施

日頃から災害を想定した訓練を行い、炊き出し、消火器の使用法や応急手当てなど、防災活動に必要な知識や技術を習得する。



#### 災害時の活動

会長や班長の指導のもとに人命を守ることを第一に活動しましょう。

##### 情報の収集・伝達

災害に関する正しい情報の収集・伝達をする。



##### 初期消火活動

出火防止のための活動や初期消火活動をする。



##### 避難誘導

住民を避難所などの安全な場所に誘導する。



##### 救出・救助活動

身の安全を確保し、負傷者や家屋などの下敷きになった人の救出・救助活動をする。



##### 医療救護活動

応急手当てをして、救護所へ搬送する。



##### 給食・給水活動

食料や水、救援物資などの配分や炊き出しなどをする。



自主防災組織についての具体的なことは、市総務防災課危機対策係にご相談ください。

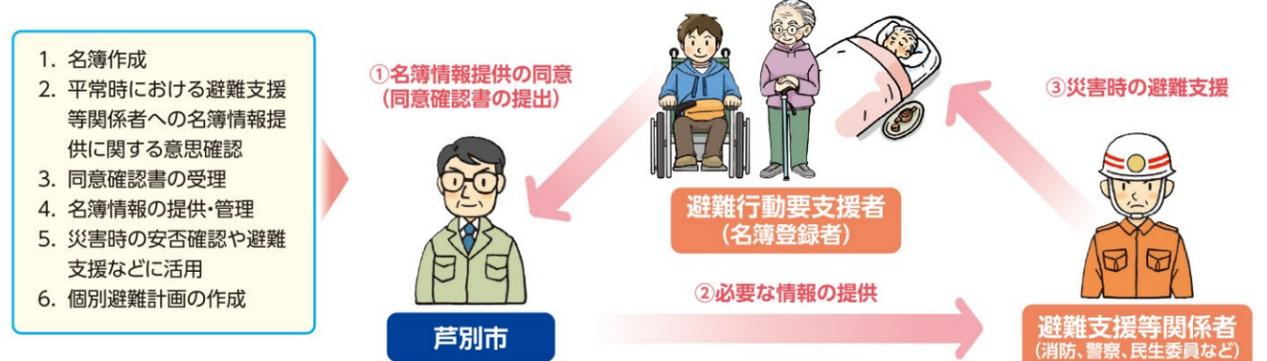
## 要配慮者への取り組み

### 避難行動要支援者制度について

災害発生時や災害が発生するおそれがある場合に、要介護高齢者や障がいのある方など、自ら避難することが困難な方を対象に「避難行動要支援者名簿」を作成しています。災害発生時には、この名簿を活用して避難支援等関係者と情報を共有することで、災害時の安否確認や避難支援に役立つ仕組みのことを「避難行動要支援者制度」といいます。

なお、名簿情報の提供に同意したら、避難支援が約束されるものではなく、必ず助けてもらえるものではありません。避難支援等関係者も被災することがあります。そこで、名簿に登録されている方々も、自分の身は自分で守るという意識を日頃からもって、ご家庭や周囲の方々と積極的にコミュニケーションをとること等を心がけてください。

#### 【避難行動要支援者制度の仕組み】



### 要配慮者とは

高齢者・障がい者・乳幼児など、災害時の情報把握、避難、生活手段の確保等が困難な方を「要配慮者」といいます。個々の状況に応じて、備えや支援の方法が異なります。「要配慮者」の方々を災害から守るために、皆さんで積極的に協力しましょう。

また、家族に「要配慮者」がいる場合、事前に災害時の連絡手段や避難方法について周囲に声をかけて準備をしておくことも大切な取り組みです。

#### ◎高齢者・寝たきりの方のために

##### 日頃の備え

室内を整理整頓し、頭上からの落下物が発生しないよう注意。

##### ポイント

- ・緊急の時はおぶって安全な場所まで避難する。
- ・複数の介助者で対応する。
- ・不安を取り除くように声をかける。



#### ◎肢体が不自由な方のために

##### 日頃の備え

家具などの転倒防止策を十分にし、車いすが通る幅を十分確保する。

##### ポイント

- ・車いすの移動は、階段では3～4人で声をかけ合いながら運ぶのが安全。
- ・介助者が一人の場合、おんぶ紐等を利用しておぶって避難する。



#### ◎目が不自由な方のために

##### 日頃の備え

白杖やラジオはいつでも手の届くところに置き、笛やブザーを携帯しておく。

##### ポイント

- ・災害時には本人のそばへ行き、支援が必要か声をかけ、正確な情報を伝える。
- ・誘導する際は、杖を持った方の手には触れず、体の一部につかまってもらいながらゆっくり歩く。



#### ◎耳が不自由な方のために

##### 日頃の備え

携帯電話などを手元に置き、笛やブザー・筆記用具を携帯しておく。

##### ポイント

- ・話をするときは口をきちんと開けて落ち着いて話す。
- ・手話、筆談、身振り等の方法で正確な情報を伝える。



# 非常時の持出品・備蓄品

## チェックリストで確認しましょう

いざという時のために下記リストを参考に準備しましょう。また、備蓄品の飲食物は保存期限に注意しましょう。

### ①非常時持出品

#### ●日用品

- マッチ
- ライター
- ろうそく
- 洗面用具
- タオル
- ティッシュペーパー
- ウェットティッシュ
- ビニール袋
- 缶切り
- ナイフ
- はし
- 使い捨て食器
- 使い捨てカイロ
- 携帯電話
- スマートフォン
- 充電器
- ゴミ袋
- ヘルメット
- 雨具
- 紙コップ
- ハンカチ
- ビニールシート
- 防災ガイドブック



#### ●救急薬品

- 絆創膏・ガーゼ
- 傷薬  かぜ薬
- 包帯  常備薬
- 鎮痛剤  体温計
- 胃腸薬  生理用品



#### ●貴重品

- 現金 (公衆電話利用も考慮し10円硬貨も用意)
- 印鑑
- 健康保険証  母子手帳
- 預金通帳  お薬手帳
- 免許証  マイナンバーカード



#### ●非常食・飲料水

- 乾パン
- 缶詰
- ビスケット
- チョコレート
- ミネラルウォーター



#### ●衣類

- 下着
- 上着
- 靴下
- 手袋

#### ●こんなものも必要です

- 赤ちゃん・高齢者がいる場合
- 乳児用ミルク
  - おむつ
  - など

上記のほか、感染症予防のためのマスク・除菌スプレー・除菌シートなどを持参しましょう。

### ②非常時備蓄品

被災後の生活をささえるものです。救援体制が整うまでの数日間(最低3日間、できれば7日間)自活できるようにしましょう。

#### ●食料品

- アルファ米
- レトルトパック食品
- カップ麺
- 缶詰
- など



#### ●飲料水

- 飲料水 (1人1日当たり3リットルが目安)
- 貯水したタンク



#### ●燃料

- 卓上コンロ (予備のガスボンベ)
- 固形燃料



※定期的に備蓄品を使用・消費する循環備蓄(ローリングストック)に努めましょう。

# マイ・タイムライン

風水害時の対応に活かせるよう下記マイ・タイムラインを作成して、順を追って自分たちの行動を整理してみましょう。

## 私たちの避難所

行政からの情報	行動の例 (情報が発表されたら)	自分たちの「マイ・タイムライン」
<b>レベル1</b> 今後気象状況悪化のおそれ 早期注意情報 ※9P・10P「情報と避難方法」参照	<input type="checkbox"/> 気象情報を確認する。 <input type="checkbox"/> 非常時持出品や備蓄品を確認する。 <input type="checkbox"/> 携帯電話を充電する。	
<b>レベル2</b> 気象状況悪化 大雨注意報 発表 (気象庁) 洪水注意報 発表 (気象庁) キキクル危険度分布「注意」(気象庁) はん濫注意情報 発表 (国交省・気象庁)	<input type="checkbox"/> 気象情報や川の水位を確認する。 <input type="checkbox"/> 避難できるよう準備をする。 <input type="checkbox"/> ハザードマップで避難所・避難経路を確認する。	
<b>レベル3</b> 災害のおそれあり 大雨警報 発表 (気象庁) 洪水警報 発表 (気象庁) キキクル危険度分布「警戒」(気象庁) はん濫警戒情報発表 (国交省・気象庁) 高齢者等避難 発令 (戸別市)	<input type="checkbox"/> 気象情報や川の水位を確認する。 <input type="checkbox"/> 開設避難場所を確認する。 <input type="checkbox"/> 市より高齢者等避難が発令されたら避難を開始。 特に高齢者等避難に時間を要する人は、危険な場所から避難する。	<b>高齢者等避難</b>
<b>レベル4</b> 災害のおそれ高い 土砂災害警戒情報 発表 (気象庁) キキクル危険度分布「危険」(気象庁) はん濫危険情報 発表 (国交省・気象庁) 避難指示 発令 (戸別市)	<input type="checkbox"/> 全員避難。 <input type="checkbox"/> 気象情報や川の水位を確認する。	<b>全員避難</b>
<b>レベル5</b> 災害発生または切迫 大雨特別警報 発表 (気象庁) キキクル危険度分布「災害切迫」(気象庁) はん濫危険情報 発表 (国交省・気象庁) 緊急安全確保 発令 (戸別市)	<input type="checkbox"/> 安全な場所で気象情報を確認する。 <input type="checkbox"/> 逃げ遅れたら建物の高いところに避難する。	<b>緊急安全確保</b>

※水位基準については作成時のものです。こまめに確認しましょう。 ※警戒レベル相当情報も確認しながら、先行的に行動できるように整理しましょう。